

ASAHI RUBBER INTERIM REPORT 2011

朝日ラバー中間株主通信2011

平成22年4月1日▶平成22年9月30日

中国への本格展開をスタート 継続的な成長を続けてまいります

To Our Shareholders

株主の皆様へ



代表取締役社長 横山林吉

当第2四半期連結累計期間は、前半は海外経済回復が牽引して景気は堅調に回復しましたが、後半では海外経済の回復基調の鈍化や円高の進展による輸出の弱含みなどにより、景気回復のペースが鈍化してきました。

当社グループにおいても、当第2四半期累計期間は業績が好調に推移し、前年同期の赤字から黒字に転換することができました。前年同期は、非常に厳しい環境で売上が伸びない中、様々な経営合理化策を実施したことにより一時的に費用を大幅に低減させました。当第2四半期累計期間は、人件費カットを元に戻す中でも、売上が大幅に増加したこと、また生産性を向上させたことで利益が出やすい体質になってきたことが大きな要因だと分析しています。

当期は、従来の開発、事業、管理の3本体制から、若手を起用した統括部長による現場重視のマネジメントにより、迅速な意思決定ができる体制を整えました。また、医療事業の新製品で獲得した受注

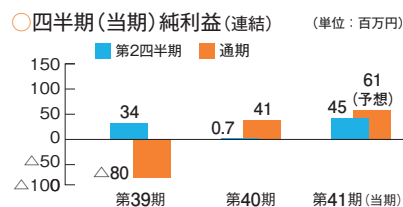
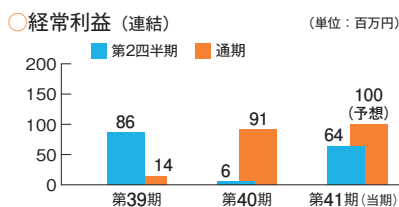
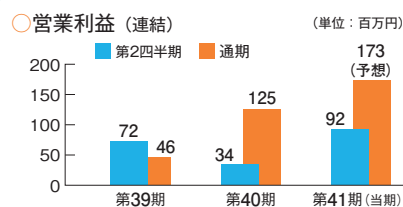
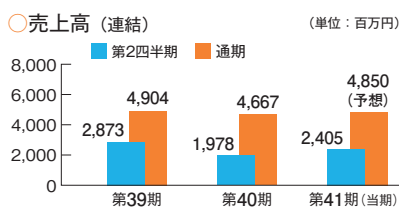
に対応するため、第二福島工場を増築し、1.5倍の生産体制を可能とする設備投資を行い、10月から量産がスタートしています。さらに、特に中国に進出する自動車関連のお客様の現地調達ニーズに対応するため、中国東莞市に独資法人の「東莞朝日精密橡膠制品有限公司」を設立し、自社工場による生産と供給体制を構築しました。お客様の工程監査が終了次第、順次量産をスタートさせていきます。こうした新しい市場、分野への進出は、過去からの地道な取り組みが実を結んだ結果だと考え、さらに当社独自の開発製品を市場供給できるよう、活動を進めていきます。

当期の通期見通しは、スポーツ用ゴム製品の受注減や開発製品の量産立上げの遅れなどの影響により、当初予想から下方に修正することとなりましたが、日々の改善をさらに進めて行くことで、売上が伸びない中でも利益を出している強固な体質づくりに、引き続き注力してまいります。

Financial Highlights

連結財務ハイライト

- ▶自動車向けの製品の受注が増加し、売上高の回復により3年ぶりの増収増益
- ▶スポーツ用ゴム製品の受注減で、通期予想を下方修正



通期連結業績予想

売上高	4,850	百万円
営業利益	173	百万円
経常利益	100	百万円
当期純利益	61	百万円

海外戦略を 知る

中国における法人および 生産工場を設立しました

当社では、平成17年に中国・香港において法人を設立し、中国広東省東莞市に来料加工制度（原材料、部品、設備等を無償提供し、要求する機能、品質、デザイン等に基づいて中国の受託側が加工し、加工賃を受け取る形態）による工場



で、工業用ゴム製品を生産してきましたが、特に自動車関連顧客の現地調達ニーズに
顧客の現地調達ニーズに
応えて、現地での営業・
設計・見積り・生産・販売
機能を高め、より強い取引
関係を通じて事業を広げ、
さらに中国や東南アジアへ
の迅速な製品供給を確立

することを目的として、当社グループ出資100%の法人が運営する自社工場を設立いたしました。

新工場は、9月に外装工事と内装工事を終了し、10月から出荷を始めています。お客様、従業員、地域などから期待され、喜ばれる工場を目指し、当社グループのノウハウを結集して、新しい市場に展開していきます。



●設立した子会社と工場の概要

商号	東莞朝日精密橡膠制品有限公司
所在地	中国広東省東莞市横瀝鎮西城1期B1区第2棟
出資者	朝日橡膠（香港）有限公司（当社出資100%子会社）100%
登録資本金	250万米ドル
設立年月日	平成22年7月8日
代表者	董事長 亀本 順志（当社取締役）
主な事業の内容	工業用ゴム製品の製造・販売
操業開始日	平成22年9月1日
工場の構造	地上3階建て（1、2階は生産スペース、3階は事務所等）
延床面積	約5,600㎡

独資法人の特長

- 人民元通貨での取引ができます
- 現地のお客様のニーズを迅速に捉えることができます
- タイムリーな納品と的確なフォローをすることができます

技術を 知る

上海の展示会に出展しました

11月4日から6日まで上海で開催された上海国際伝統医薬・健康博覧会に、福島県上海事務所から紹介を受けて、ジェットのブース内に、衛生用ゴム製品のアーチサポート・耳栓などのサポラスを展示しました。現地市場では、年輩の方ほど困っているということや、上海に居住する方にとっては決して高いという印象ではなく、日本製は良いものという価値観を持っている方が多いようでした。

また、11月9日から13日まで上海新国際展覽中心で開催された、中国国際工業博覧会に当社製品を出展しました。主に照明機器が飾られている都市LED照明新型表示展に当社ブースを構え、ASA COLOR LEDとASA COLOR LENSを展示し、色と光のコントロール技術を生かしたASA COLORブランドをアピールしました。

中国では、省エネルギーに対する政策的な取り組みが進んでおり、消費者意識も良いものを手に入れたいという雰囲気が出てきているようです。

展示会の総入場者数は5日間で約10万人、当社ブースで名刺をいただいた会社数は168社、配布されたカタログ数は約290部でした。

当社製品を初めて見る来場者からは、「非常に面白い考え方で製品作りをしており、詳細な技術説明を受けたい。」といった声をいただきました。

当社グループは、中国を成長を続ける市場として捉え、情報収集と情報発信による知名度を向上させ、お客様の要望に応じてまいります。



新製品を
創る

業界初のシリコン製白色レジスト材料
「ASA COLOR RESIST INK」を開発しました

このたび、LED向けプリント基板用の耐性が高く、かつ、反射率の高いシリコン製白色レジスト材料「ASA COLOR RESIST INK」を開発しました。

LED照明は省エネルギーや長寿命といった特長で普及しており、さらなる発光効率 (lm/w) アップや大電流化が進んでいます。「ASA COLOR RESIST INK」は、LEDを取り付ける基板に塗付する材料で、反射率が高いためLEDの光取り出し効率を高めることができます。また、熱に強いシリコン性であることから、高出力のLED向けプリント基板に対応することができます。

当社のASA COLORブランド製品は、独自の『色と光のコントロール技術』と『シリコンの素材変性技術』を生かして、LEDを始めとしたオプトデバイス分野の様々な電子部材に、当社の独自技術である『色と光のコントロール技術』と『素材変性技術』を生かした製品を提供して行きます。



モノを
造る

第二福島工場増築棟の
竣工式を執り行いました

9月7日の大安に、このたび完成した第二福島工場増築棟の竣工式が執り行われました。

竣工式では、地元南湖神社の神主により安全と繁栄を祈願した、厳粛な神事が行われました。

竣工式後に、新たに導入された400tプレスの稼働のスイッチが横山社長の手によって押され、増築棟でのものづくりがスタートしました。



現場を
見る

株主向け工場見学会
を実施しました

9月24日、株主の皆様を対象に白河工場の見学会を開催いたしました。今回で4回目となる今年は、お越しいただいた2名の株主様に横山社長が事業説明を行い、白河工場のクリーンルームでの生産工程の見学の他に、高機能製品を展示して、多品種小ロットでもお客様の要望に応える、カスタマイズしたものづくりを行う当社製品を紹介しました。

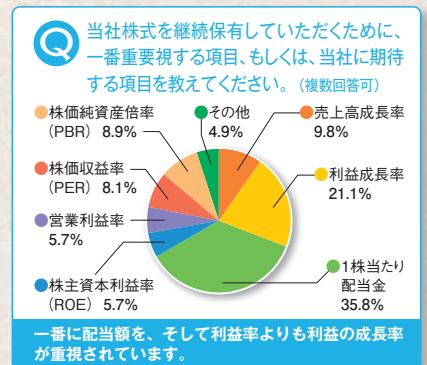
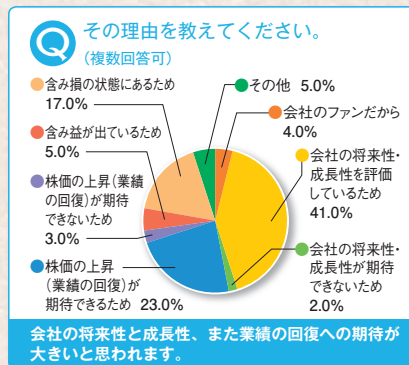
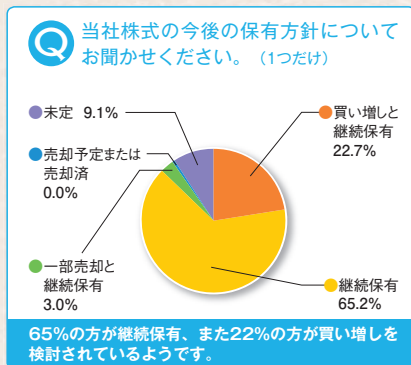


株主様の
声を
聴く

アンケート結果のご報告

当社では、3月末時点で当社株式を保有している株主様を対象に、毎年6月末の株主総会決議通知に同封してアンケートががきを送付しています。今年で5年目の実施となる今回は、実質対象である個人株主1,109名のうち、73枚の返信がありました。株主アンケートは継続して実施することで、株主様の属性を把握し、また株主様の意向を経営に反映させるためのツールとして、今後も取り組んで行きます。

●調査対象：全株主1,161名 (実質対象 個人株主1,109名) ●調査方法：決議通知に同封 (平成22年6月24日発送) ●調査期間：平成22年6月24日～7月30日
●集計対象はがき：73枚 ●返送率：6.3% (個人株主のみ6.6%) ※総回答数を母数として割合を算出しています。

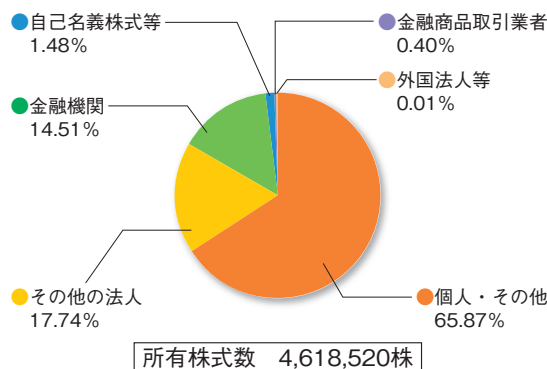


- 発行可能株式総数 11,500,000株
- 発行済株式の総数 4,618,520株
- 株主数 1,158名
- 大株主

株主名	持株数	持株比率
有限会社伊藤コーポレーション	715,500株	15.7%
伊藤潤	227,000	5.0
伊藤巖	222,528	4.9
株式会社南日本銀行	216,000	4.7
朝日ラバー共栄持株会	185,500	4.1
朝日ラバー従業員持株会	153,028	3.4
室井豊	134,500	3.0
株式会社武蔵野銀行	113,000	2.5
株式会社東邦銀行	97,400	2.1
横山林吉	93,460	2.1

(注) 持株比率は自己株式(68,305株)を控除して計算しております。

●所有者別株式の分布状況



- 商号 株式会社朝日ラバー (ASAHI RUBBER INC.)
<http://www.asahi-rubber.co.jp>
- 所在地 埼玉県さいたま市大宮区土手町二丁目7番2
- 設立 昭和51年6月(創業 昭和45年5月)
- 資本金 5億1,687万円
- 証券コード 5162
- 正社員数 233名
- 主な業務内容 工業用ゴム製品の製造・販売
- 主な事業所
本社 埼玉県さいたま市大宮区土手町二丁目7番2
大阪営業所 大阪府大阪市城東区蒲生一丁目12番10号 京橋アドバンス21 205号
福島工場 福島県西白河郡泉崎村大字泉崎字坊頭窪1番地
第二福島工場 福島県西白河郡泉崎村大字泉崎字山崎山1番地3
白河工場 福島県白河市萱根月ノ入1番地2-1
上海駐在事務所 中国上海市長寧区延安西路1088号長峰中心516室
- 関係会社 ARI INTERNATIONAL CORPORATION
株式会社ファイナラバー研究所
朝日橡膠(香港)有限公司
東莞朝日精密橡膠制品有限公司

- 役員 (平成22年9月30日現在)
取締役会長 伊藤 巖
代表取締役社長 横山林 吉
代表取締役副社長 伊藤 潤
常務取締役 中沢 章 二
取締役 亀本 順 志
取締役 渡辺 陽一郎
常勤監査役 埴 雅 夫
監査役 柳 沼 晃
監査役 鈴木 敦

●株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月に開催
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	大阪証券取引所 (JASDAQ市場)
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.asahi-rubber.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

もっと 朝日ラバーを知る

HPをリニューアルしました。
積極的な情報開示に努めてまいりますので、是非ご覧ください。

<http://www.asahi-rubber.co.jp>



MOBILEで



<http://m-ir.jp/c/5162>



株式会社朝日ラバー
〒330-0801 埼玉県さいたま市大宮区土手町二丁目7番2
TEL 048-650-6051 FAX 048-650-5201